

新任工場長あいさつ



工場長
飯盛 馨

平成29年4月1日付けで墨田清掃工場長に着任しました、飯盛 馨(いもり かおる)でございます。

地域の皆様には、日頃より工場運営に関し多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。お陰様で、平成10年1月のしゅん工以来、安全で安定的な工場運営が実践できています。

清掃工場は、都市環境を良好に保つための不可欠な施設であると自負し、地域の一員としての立場も重要なものと捉えています。

これからも工場職員一丸となって、日々搬入されるごみの適切な処理、また、更なる環境負荷の低減を積極的に推進させ、地域の皆様に安心していただける工場運営を実現させてまいります。今後ともご支援、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



墨田工場へのご来場をお待ちしております。

墨田清掃工場は清掃技術協力をしています

平成29年4月17日(月)、バングラディッシュから国営放送が来場し、日本のごみ処理とリサイクルに関する現状について取材を受けました。今後参考にできる点などを放送し役立てていくとのことです。

また、5月19日(金)には清掃技術訓練センターの研修の一環として、高座清掃施設組合、新潟市環境部廃棄物施設課巻清掃センター、小平・村山・大和衛生組合の方々来場し、当工場研修を行いました。清掃技術協力を通じて、環境保全に努めていきます。



訓練センター研修中の様子



バングラディッシュ取材の様子

墨田清掃工場運営協議会の開催

平成29年2月6日(月)に第20回墨田清掃工場運営協議会を当工場2階会議室において開催しました。

墨田清掃工場における各種環境調査結果や操業状況、放射能等測定結果について報告を行いました。今年度も墨田清掃工場の安全・安定稼働に全力を尽くしてまいりますので、皆様のご理解ご協力のほどお願い申し上げます。※資料は、清掃一組ホームページで公表しています。



運営協議会の様子

ごみの分別をお願いします

23区内の清掃工場において、水銀混入ごみの不適正搬入等が原因で焼却炉を停止する事態が発生しております。

焼却炉を停止すると、設備の復旧に多くの時間と費用が必要になるだけでなく、ごみの収集が遅れるなど、23区の清掃事業及び環境にも重大な影響を及ぼします。

正しい分別方法で、ごみを出していただくよう、皆様のご協力をお願いいたします。

不適正搬入防止を呼び掛けるチラシ

墨田区のごみの分別方法についてのお問い合わせ先
すみだ清掃事務所(分室) ☎ 03-3613-2228



墨田清掃工場の空間放射線量率測定結果

空間放射線量率測定結果

単位: μ Sv/h

測定日	敷地境界				
	東	西	南	北	※
平成28年12月5日	0.09	0.07	0.07	0.07	0.08
平成29年1月5日	0.08	0.07	0.08	0.08	0.08
平成29年2月8日	0.08	0.07	0.07	0.08	0.07
平成29年3月6日	0.10	0.07	0.08	0.08	0.08
平成29年4月4日	0.08	0.07	0.07	0.09	0.08

- 測定値は、当組合工場職員が地表1mの高さで測定した値です。
測定器：日立アロカメディカル(株)製TCS-172B (シンチレーション式サーベイメータ)
測定方法：指示値の安定を確保した後、指示値を5回読み取り、その平均を測定値としました。
- 測定値は、気象条件等により変化します。
- ※は、灰処理設備から最も離れた地点です。

墨田清掃工場の放射能濃度測定結果

放射能濃度測定結果

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計	
主灰	4/21	Bq/kg	不検出(<12)	41	41	
飛灰	4/21		44	299	343	
飛灰処理汚泥	4/15		不検出(<15)	82	82	
汚水処理汚泥	4/21		不検出(<11)	不検出(<12)	不検出	
放流水	4/21	Bq/L	不検出(<10)	不検出(<12)	不検出	
排ガス	ろ紙	4/17	Bq/m ³ N	不検出(<0.20)	不検出(<0.14)	不検出
	捕集水			不検出(<0.54)	不検出(<0.59)	不検出

※「不検出」とは、検出下限値未満を表します。()内は検出下限値を表します。

測定の結果、汚水処理汚泥・放流水・排ガス放射能濃度は不検出、焼却灰等の濃度も埋立処分に支障のない範囲でした。

放射能測定結果等は、清掃一組ホームページで定期的に公表しています。

墨田清掃工場の排ガス調査結果

排ガス調査結果

調査年月日 平成28年12月21日

調査項目	基準値		調査値	単位
	法律	協定書		
ばいじん	0.08	0.02	不検出	g/m ³ N
硫黄酸化物	30	20	不検出	ppm
窒素酸化物	84	60	31	ppm
塩化水素	430	15	不検出	ppm
水銀	—	0.05	不検出	mg/m ³ N
ダイオキシン類	1	—	0.00000011	ng-TEQ/m ³ N

- 「不検出」とは、定量下限値未満を表します。
- 各項目の値は、酸素濃度12%換算値です。
- m³N (ノルマル立方メートル) とは、0°C、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。
- ppmは、100万分の1の割合を表します。
- ng (ナノグラム) は、10億分の1gを表します。
- TEQ (毒性等量) とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2, 3, 7, 8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値を表します。



操業状況概要

平成28年10月から平成29年3月までの当工場の操業状況は、以下のとおりです。

- ごみ搬入量： 約56,312トン
- 残灰搬出量： 約7,113トン
- 発電量： 約25,299MWh
- 売電量： 約17,736MWh

※数値は速報値に基づきます。

※残灰には汚水処理汚泥等も含まれます。

中間点検を実施します

工場の安全・安定稼働に必要な定期点検を実施します。

実施期間：平成29年7月下旬～8月中旬(予定)
作業内容：焼却炉・ボイラ等の清掃・点検、一部補修
このため、焼却、発電、熱供給を停止します。

(工場見学中止期間)

平成29年7月16日(日)～8月18日(金)(予定)

